

◆ 科目名 疾病治療論 I	単位数 (2)・科目時間数 (60) 時間		
単元名 微生物学 単元時間 20 H	開講時期 2023年4月予定	講師名 大塚 喜人	
単元名 病理学 単元時間 20 H	開講時期 2023年7月予定	講師名 臨床	
単元名 薬理学 単元時間 20 H	開講時期 2023年11月予定	講師名 臨床	
【科目目標】			
1. 病原体に関する知識と感染症の特徴的な様式、病原性、発生・伝播、およびその予防・治療の基礎的知識を理解できる。 2. 細胞や組織に生じる異常な状態の定義・発生機序・代表的な疾患から様々な症状・徴候のメカニズムに共通する現象を理解できる。 3. 人体への薬物の働きかけや薬物に対する生体側の反応など、薬物治療に関する基礎的知識を学び、薬物治療に重要な看護師の役割を理解できる。			
【授業内容】			
<微生物学> 1. 微生物学の基礎 1) 微生物と微生物学 (1) 微生物の性質 (2) 微生物と人間 2) 細菌の性質 (1) 細菌の形態と特徴 (2) 培養環境と栄養 (3) 常在細菌叢 3) 真菌の性質 (1) 真菌の形態と特徴 4) ウイルスの性質 (1) ウイルスの特徴 (2) ウイルスの構造と各部分の機能 (3) ウイルスの増殖・分類 2. 感染とその防御 1) 感染と感染症 (1) 微生物感染の機構 (2) 感染の成立から発症・治癒まで (3) 細菌感染・真菌感染・原虫感染・ウイルス感染の機構 2) 感染に対する生体防御機構 (1) 免疫のしくみ (2) 感染の徴候と症状 3) 感染源・感染経路からみた感染症 (1) 経口感染 (2) 経気道感染 (3) 接触感染 (4) 経皮感染 (5) 母児感染 4) 滅菌と消毒 (1) 滅菌・消毒の意義と定義 (2) 消毒と消毒薬		5) 感染症の検査と診断 (1) 病原体を検出する方法 (2) 生体の反応から診断する方法 6) 感染症の治療 3. 感染症の現状と対策 1) 感染症の変遷 2) 感染症の現状と問題点 3) 感染症への対策 4. おもな病原微生物 1) 病原細菌と細菌感染症 (1) グラム陽性球菌・陰性球菌 (2) グラム陰性好気性桿菌・陰性通性桿菌 (3) カンピロバクター属 ヘリコバクター属 (4) グラム陽性桿菌 (5) 抗酸菌と放線菌 (6) 嫌気性菌 (7) マイコプラズマ 5. 病原真菌と真菌感染症 1) 深在性真菌症をおこす真菌 2) 深部皮膚真菌症をおこす真菌 3) 表在性真菌症をおこす真菌 6. 病原ウイルスとウイルス感染症 1) DNA ウイルス 2) RNA ウイルス 3) ウイルスの臨床的分類	

<病理学>

1. 病理学総論

- 1) 病理学で学ぶこと
 - (1) 看護と病理学
 - (2) 病気の原因
 - (3) 病気の分類と病理学の学び方
- 2) 細胞・組織の損傷と修復、炎症
 - (1) 細胞・組織の損傷と適応
 - (2) 細胞・組織の損傷に対する反応、炎症
 - (3) 炎症の分類と治療
- 3) 免疫、移植と再生医療
 - (1) 免疫と免疫不全
 - (2) アレルギーと自己免疫疾患
 - (3) 移植と再生医療
- 4) 感染症
 - (1) 感染の成立と感染症の発病
 - (2) おもな感染症
 - (3) 感染症の治療・予防
- 5) 循環障害
 - (1) 循環系の概要
 - (2) 浮腫<水腫>
 - (3) 充血とうっ血
 - (4) 出血と止血
 - (5) 血栓症・塞栓症
 - (6) 虚血と梗塞
 - (7) 側副循環による障害
 - (8) 高血圧症
 - (9) 播種性血管内凝固症候群 (DIC)
 - (10) ショックと臓器不全
- 6) 代謝障害
 - (1) 脂質代謝障害
 - (2) タンパク質代謝障害
 - (3) 糖質代謝異常
 - (4) そのほかの代謝障害

2. 老化と死

- 1) 個体の老化と老年症候群
- 2) 老化のメカニズムと細胞・組織・臓器の変化
- 3) 個体の死と終末期医療

3. 先天異常と遺伝性疾患

- 1) 先天異常
- 2) 遺伝子の異常と疾患
- 3) 先天異常・遺伝性疾患の診断と治療

4. 腫瘍

- 1) 腫瘍の定義と分類
- 2) 悪性腫瘍の広がりと影響
- 3) 腫瘍発生の病理
- 4) 腫瘍の診断と治療

5. 生活習慣と環境因子による生体の障害

- 1) 生活習慣による生体の障害
- 2) 放射線による生体の障害
- 3) 中毒

<薬理学>

1. 薬理学総論

- 1) 薬理学を学ぶにあたって
 - (1) 薬物による病気の治療
 - (2) 薬理学とはなにか
- 2) 薬理学の基礎知識
 - (1) 薬が作用するしくみ
 - (2) 薬の体内動態
 - (3) 薬物相互作用
 - (4) 薬効の個人差に影響する因子
 - (5) 薬物使用の有益性と危険性
 - (6) 薬と法律

- 8) 呼吸器・消化器に作用する薬物
 - (1) 呼吸器系に作用する薬物
 - (2) 消化器系に作用する薬物
- 9) 物質代謝に作用する薬物
 - (1) ホルモンとホルモン拮抗薬
- 10) 救急の際に使用される薬物
 - (1) 救急に用いられる薬物

2. 薬理学各論

- 1) 抗感染症薬
 - (1) 感染症治療に関する基礎事項
 - (2) 抗菌薬
 - (3) 抗真菌薬・抗ウイルス薬
- 2) 抗がん薬
 - (1) 抗がん薬各論
- 3) 免疫治療薬
 - (1) 免疫抑制薬
 - (2) 免疫増強薬・予防接種薬
- 4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬
 - (1) 抗ヒスタミン薬
 - (2) 抗アレルギー薬
 - (3) 抗炎症薬
- 5) 末梢での神経活動に作用する薬物
 - (1) 自律神経系作用薬
- 6) 中枢神経系に作用する薬物
 - (1) 全身麻酔薬
 - (2) 抗うつ薬・気分安定薬
 - (3) パーキンソン症候群治療薬
 - (4) 抗てんかん薬
- 7) 循環器系に作用する薬物
 - (1) 降圧薬
 - (2) 狭心症治療薬
 - (3) 利尿薬

【評価方法】

筆記試験またはレポート

教科書・参考書等

- [微生物学] はじめよう 看護の感染と防御 小林寅喆著 ヴァンメディカル
[病理学] 疾病のなりたちと回復の促進 ① 病理学 医学書院
[薬理学] 疾病のなりたちと回復の促進 ③ 薬理学 医学書院

